

6 吹 下 経 第 5 1 8 1 号

令 和 0 7 年 0 1 月 1 4 日

国土交通大臣 殿

吹田市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和06年12月02日 付け 6吹下経第5158号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画														防災・安全交付金		令和07年01月14日	
計画の名称	吹田市下水道 安心・安全のまちづくり（その2）（重点計画）（防災・安全）																
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度（5年間）												重点配分対象の該当		○		
交付対象	吹田市																
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		7,570	A	7,570	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初	R8末	R10末
1	下水道による都市浸水対策達成率（10年確率降雨）を54.10%（R6）から54.65%（R10）に増加させる。			
	①下水道による都市浸水対策達成率（%）（10年確率降雨）	54%	55%	55%
	浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha） ※浸水対策を実施すべき面積：A=3582ha			
2	処理場ポンプ場設備機器の健全度2以下の割合を32.4%（R6）から22.5%（R10）に減少させる。			
	②処理場ポンプ場設備機器の健全度2以下の割合（%）	32%	29%	23%
	健全度2以下の設備数／全設備数（代表設備） ※全設備数（代表設備）：N=111			
3	管路施設地震対策事業による管渠耐震化率を25.8%（R6）から30.9%（R10）に増加させる。			
	③管路施設地震対策事業による管渠耐震化率（%）	26%	30%	31%
	地震対策事業による耐震化済管渠延長（km）／耐震化が必要な管渠延長（km） ※耐震化が必要な管渠延長：225.49km			
4	処理場ポンプ場の耐震化率を15.4%（R6）から17.3%（R10）に増加させる。			
	④処理場ポンプ場の耐震化率（%）	15%	15%	17%
	耐震化済施設数／耐震化が必要な処理場・ポンプ場施設数 ※全施設数：N=52			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
吹田市強靱化地域計画 A07-001～005												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 雨水）	新設	管路施設浸水対策事業	管布設 L=7.9km、詳細設計	吹田市	■	■	■	■	■	3,158		—	
		種別1は外に管渠（合流）を含む																		
	A07-002	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 雨水）	—	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	内水浸水想定区域図等	吹田市	■						20		—
		種別1は外に管渠（合流）を含む																		
	A07-003	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	終末処 理場	改築	処理場等雨水対策事業	雨水ポンプ設備、流入・流出 ゲート	吹田市	■	■	■	■	■		2,142		策定済
		下水道ストックマネジメント計画、種別1は外にポンプ場を含む																		
	A07-004	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 污水）	改築	管路施設地震対策事業	管更生・布設替え L=1.6km、 人孔更生、調査、詳細設計	吹田市		■	■	■	■		1,386		策定済
		下水道総合地震対策計画、上下水道耐震化計画、種別1は外に管渠（雨水）・管渠（合流）を含む																		
A07-005	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	終末処 理場	改築	処理場等地震対策事業	管理棟、ポンプ棟、最初沈殿 池、反応槽、他一式	吹田市		■	■	■	■		864		策定済	
	下水道総合地震対策計画、上下水道耐震化計画、種別1は外にポンプ場を含む																			
										小計							7,570			
										合計							7,570			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 吹田市下水道 安心・安全のまちづくり（その２）（重点計画）（防災・安全）

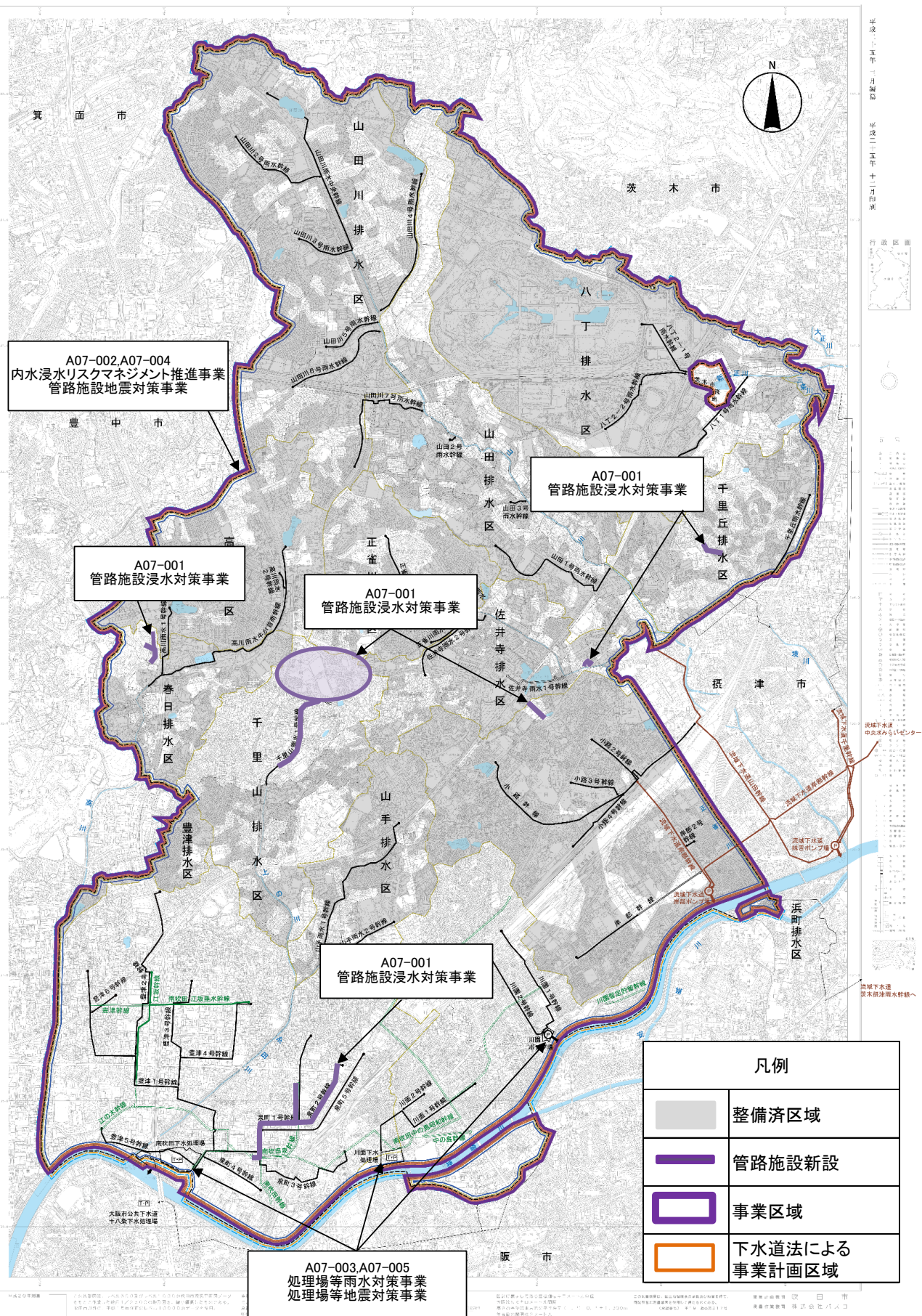
事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①社会資本整備重点計画との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 計画について関係機関等の理解が得られている。	○

(参考式3)

令和6年度～令和10年度（5年間）

吹田市

吹田市



吹田市下水道計画一般図 (分流污水・合流)

